

平成 29 年度

施設評価調書

施設の名称……高齢者生きがいプラザ

所管担当課……福祉事務所

平成 29 年 7 月

平成 29 年度	施設名（愛称名）	下田市高齢者生きがいプラザ	番号	42
----------	----------	---------------	----	----

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設 置 目 的	高齢者が要介護状態になることを予防するため、陶芸など趣味の活動の場を提供し、仲間や世代間の交流を図る。					
運 営 事 業 名	H27 年実績値	H28 年目標値	H28 年実績値	対前年比	目標達成率	評価
利用者数の向上	6,007 人	3,500 人	2,672 人	△3,335 人	76.3%	
陶芸窯・作業室の利用向上	221 件	120 件	99 件	△122 件	82.5%	
高齢者の利用者数向上	3,148 人	2,000 人	1,642 人	△1,506 人	82.1%	
設置目的に対する総合評価						
目 的 達 成 度 の 評 価 基 準	本施設を利用して実施したことによりどの程度の介護予防効果があったかを指標で示すことは困難であり、高齢者等が、本施設を利用して実施した陶芸などの活動実績を指標としている。					

2 現状分析(Check)

運 営 事 業 の 意 義 と 現 状	高齢者の生きがいと健康増進、障害者の福祉向上を目的とした、介護予防拠点整備事業により平成 12 年度に建設されたが高齢者が要介護状態になることを予防するため、陶芸など趣味の活動の場を提供し、仲間や世代間の交流を図ることを目的としているが、公共交通の便の悪い高台に施設があるため、より多くの高齢者の利用は難しい状況にある。
上 記 の 原 因	介護保険制度上の介護予防事業が施策メニューとして行われている現状では、高齢者の日常生活に近い地域に高齢者施設が必要となっており、高齢者利用率の低迷については、交通の利便性の問題が大きい。

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	静岡県防災棟建設に伴い、平成 28 年 11 月 1 日施行日とし下田市高齢者生きがいプラザ条例を廃止。生きがいプラザの機能については、同じ福祉施設である総合福祉会館へ移転する。		
H28 年度運営事業と目標値	運 営 事 業 名	H29 年度目標値	備 考
	利用者数の向上	2,041 人	H28 年度目標値の 7 箇月分
	陶芸窯・作業室の利用向上	70 件	H28 年度目標値の 7 箇月分
	高齢者の利用者数向上	1,167 人	前年度実績者数の 7 箇月分

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価

運 営 事 業 名		H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
総合評価					
利用者数の向上	目標	7,200 人	7,200 人	7,200 人	3,500 人
	実績	5,514 人	5,705 人	6,007 人	2,672 人
陶芸窯・作業室の利用率向上	目標	200 件	200 件	200 件	120 件
	実績	219 件	224 件	221 件	99 件
高齢者の利用者数向上	目標	1,500 人	1,500 人	1,500 人	1,500 人
	実績	3,092 人	3,003 人	3,148 人	1,642 人

平成 29 年度	施設名（愛称名）	下田市高齢者生きがいプラザ	番号	42
----------	----------	---------------	----	----

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		H27 年度値	H28 年目標値	H28 年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等	6,007 人	3,500 人	2,672 人	△3,335 人	76.3%
	B 年間経費 (除く収入)	3,747,396 円	2,190,000 円	2,181,745 円	△1,565,651 円	99.6%
	B / A	623.8 円	625.7 円	816.5 円	192.7 円	130.4%
②光熱水費						
③消耗品費						
効率性指標の考え方等		本施設は下記の目的で設置されているが、端的に表す成果指標がないため下記の代替指標を用いる。 ・高齢者の生きがいと障害者の福祉向上 ・基本的に無料施設であるため、利用人数を目標とし、実績を踏まえ月 600 人（500 人＋100 人）の利用とした。				
代替指標		陶芸窯・作業室	過去の実績を踏まえ月 500 人			
		会議室	過去の実績を踏まえ月 100 人			

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	隣接する市民スポーツセンターと共同で施設を管理し、受付業務・施設管理等をあわせて一体的な管理を行っている。
----------------	---

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	下田市民スポーツセンターとの相互利用・共同管理等を推進し施設の効率的な運営を図る。平成 28 年 11 月 1 日に廃止。		
H29 年度効率性 の 目 標 値	① 用単位当たり経費 B / A	816.5 円	前年度実績
	②光熱水費		
	③消耗品費		

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
①利用単位 当たり 経費	目標値	7,200 人	7,200 人	7,200 人	3,500 人
	A 実績値	5,514 人	5,705 人	6,007 人	2,672 人
	B 実績値	3,637,163 円	3,788,581 円	3,747,396 円	2,181,745 円
	B / A	659.6 円	664.1 円	623.8 円	816.5 円
	対前年比	114.6%	100.7%	93.9%	130.9%
	目標達成率	76.6%	106.5%	83.4%	76.3%
②光熱水費	目標値				
	実績値				
	対前年比				
	目標達成率				
③消耗品費	目標値				
	実績値				
	対前年比				
	目標達成率				

平成 29 年度

施設名（愛称名）	下田市高齢者生きがいプラザ
----------	---------------

番号	42
----	----

4 その他の指標

受益者負担 の適正性	区 分	説 明	単位	H23 年度	H24 年度	H25 年度
	①使用料原価	1 m ² 1 時間当たりの原 価	円	円	円	円
	② 稼動割原価率	年間経費を年間収入で 賄えない比率	%	%	%	%
	③ 1 m ² 1 時間 適正使用料	① ②	円	円	円	円
	④ 現行 1 m ² 1 時間使用料 の平均					
	⑤適正化計画					

運営に掛かる 税負担 (市民負担)	年度		H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度(予算)
	人口（4 月 1 日：人）		23,864 人	23,444 人	22,938 人	人
	人口 1 人あたり (円/人)	運営経費（収入除く）	158.8円/人	159.8円/人	95.1 円/人	円/人
		年間総経費	158.8円/人	159.8円/人	210.0円/人	円/人

平成 29 年度	施設名（愛称名）	下田市高齢者生きがいプラザ	番号	42
----------	----------	---------------	----	----

利用者満足度調査

実施の有無	☐ 有 ☒ 無	調査の方法	アンケート		H 年度調査数	件
○貸館利用者向け						
1 調査結果						
設問	回答種類	H 年度回答数	H 年度回答数	H 年度回答数		
	1					
	2					
	3					
	1					
	2					
	3					
	1					
	2					
	1					
	2					
	1					
	2					
※今年度寄せられたクレーム等						
2 調査結果から読み取れること						
3 次年度以降への改善点						

施設修繕計画及び備品購入計画

破損 年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考（修繕済年度等）

平成 29 年度	施設名（愛称名）	下田市高齢者生きがいプラザ	番号	42
----------	----------	---------------	----	----

管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性	「下田市公の施設の指定管理者選定委員会の選定結果」の「今後の課題」には、「設置目的と現状の利用形態に照らして、そもそも真に必要とされている施設であるのか、行政側に対して、目的変更をも視野に入れた検討を行うべきであると問題提起したい。」とし、当施設が、陶芸釜の活用を除き、設置目的を果たしうる利用に繋がっていないと評価されている。利用状況から、高齢者の生きがい対策としては不十分であるが、芸術文化活動に対する貢献度は高いと考えられ、近隣に公設の陶芸窯がないことから、陶芸愛好者にとっては生涯学習の点などでは、有益な施設と思われる。
民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性	本施設は高齢者の生きがいと健康増進、障害者の福祉向上を目的とした施設であり、設置目的の趣旨からは、行政が運営する施設であると思われる。さらに民間が参入し福祉向上と利潤確保の両立を図ることができるような施設ではない。
施設の管理運営と経費の妥当性	下田市高齢者生きがいプラザの廃止に伴い、同じ福祉施設である総合福祉会館へ機能を移転し運営する。
施設の性質や実費経費からみた 受益者負担の妥当性	高齢者福祉に供する施設としての基本原則があるため、多少の公的負担はやむを得ないと思われるが、その設置目的から受益者負担は最小限に留めたい。
その他の管理運営上の課題	
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	近隣自治体には、比較考慮できるような同種の施設は存在しない。

平成 28 年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項

平成 29 年度	施設名（愛称名）	下田市高齢者生きがいプラザ	番号	42
----------	----------	---------------	----	----

施 設 の 概 要

1 施設名 (愛称名)	下田市高齢者生きがいプラザ		2 担当課 担当係	福祉事務所社会福祉係		
3 所在地	下田市敷根 765 番地		4 設置年月	平成 13 年 1 月 4 日		
5 総合計画の 位置付け	IV安心なまちづくり		(1)人にやさしいまちづくり		3 高齢者福祉	
	基 本 目 標		住み慣れた環境のもとで、心豊かに、自立した日常生活を送ることのできるまちづくりを目指します。			
	基本目標を実現 するための施策		項目 高齢者の生きがい対策	内容 高齢者の交流の場の創出		
6 設置目的	高齢者の生きがいと健康増進及び障害者の福祉の向上を図る					
7 設置根拠	下田市高齢者生きがいプラザ条例					
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 321.12 m ² 建築面積 208.83 m ² 延床面積 191.71 m ² 構 造 木造平屋建				
		ギャラリー1～3、アトリエ1・2、物入1～3、 準備室、とおり、待合、水屋、茶屋、床の間、WC1・2				
	実 施 事 業 の 概 要	高齢者の生きがいと健康増進、障害者の福祉向上を目的とした介護予防の拠点となるような施設。特に、高齢者が要介護状態になることを予防するため、陶芸やお茶など趣味の活動の場を提供し、仲間や世代間の交流を図る。				
	料 金 体 系	料 金 区 分	会議室・作業室・和室 陶芸窯			
		主 な 料 金	使用時間 使用区分	午前	午後	午前・午後
				9:00～12:00	13:00～16:30	9:00～16:30
			会議室	1,020 円	1,020 円	2,040 円
			作業室	1,020 円	1,530 円	2,550 円
	和室		1,020 円	1,530 円	2,550 円	
減 免 内 容	(使用料の減免) 第9条 市長は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。 2 前項に規定する使用料の減免は、次に掲げるとおりとする。 (1) 市の主催する行事に使用するとき。 全額免除 (2) 下田市社会福祉協議会に登録した個人又は団体が、ボランティア活動として使用する とき。 全額免除 (3) 前2号に掲げるもののほか、公益上特に必要があると認めるとき。 5割の減額					
	利用料金制度	☒ 有 ☐ 無				
施 設 運 営 方 法	☐ 直接運営					
	☒ 指定管理者制度 →	指定管理者	公益財団法人 下田市振興公社			
	☐ 一部委託 →	委託内容				
直接従事職員						
9 市 内 の 類似施設	下田市所有	無				
	民間所有	無				

平成 29 年度	施設名（愛称名）	下田市高齢者生きがいプラザ	番号	42
----------	----------	---------------	----	----

10 取得費等の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳		平成 28 年度末残高		(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価 円 ・ 新設翌年度から償却 ・ 耐用年数 15 年	
	土地取得費		土地残高			
	建物取得費	39,562,000	建物減価償却後残高	5,274,942		
	財源内訳	39,562,000				
	国・県支出金	36,024,000				
	市債		市債残高			
	一般財源	3,538,000				
	寄附金等					
	物品(* 万円以上)		物品減価償却後残高			
	建物減価償却費の算定 建物取得費 39,562,000 円 年間減価償却額 2,637,466 円 (39,562,000 円÷15 年) H28 年度末経過期間 14 年 H28 年度末残存価格 5,274,942 円 → 39,562,000 円－ (2,637,466 円×14 年)					
11 年間経費等推移 (単位：円)	区 分		H26 年度決算	H27 年度決算	H28 年度決算	H29 年度予算
	収入	施設使用料	—	—	—	—
	収 入 合 計		—	—	—	—
	支出	11 節 需用費	0	0	0	0
		12 節 役務費	11,811	12,396	12,745	0
		13 節 委託料				
		管理委託料	0	0	0	0
		指定管理料	3,727,000	3,735,000	2,169,000	0
		19 節 負担金	49,770	0	0	0
		支出合計	3,788,581	3,747,396	2,181,745	0
	減価償却費		2,637,466	2,637,466	2,637,466	
	市債利子					
	職員人件費					
	下田市負担年間総経費		6,426,047	6,384,862	4,819,211	
	備考					
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H26 年度決算	H27 年度決算	H28 年度決算	H29 年度予算
		利用者数	5,705 人	6,007 人	2,672 人	人
		参考：利用単位	1126.4 円/人	1062.9 円/人	1803.5 円/人	円/人
		当たり市負担額	算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数			
	休館日	月曜日 12 月 29 日から 1 月 3 日まで				
	使用時間	午前 9 時から午後 4 時 30 分まで				

平成 29 年度	施設名（愛称名）	下田市高齢者生きがいプラザ	番号	42
----------	----------	---------------	----	----

(参考資料)

(財)下田市振興公社決算書

区 分			H26 年度決算	H27 年度決算	H28 年度決算	H29 年度予算	
振興公社決算	収入	利用料金収入	267,830	260,020	84,450		
		指定管理料	3,727,000	3,735,000	2,169,000		
		自主事業収入	1,058	60	1		
		受託事業収入					
	収 入 合 計		3,831,578	3,995,080	2,253,451		
	支出	管理運営費	人件費				
			賃金	2,269,000	2,269,000	1,309,000	
			法定福利厚生費	378,653	378,653	223,694	
			消耗品費	56,809	56,809	32,978	
			印刷製本費	11,000	11,000	0	
			燃料費	47,301	47,301	20,170	
			光熱水費	202,718	202,718	97,018	
			修繕費	41,000	41,000	6,500	
			通信運搬費	54,354	54,354	38,425	
			賃借料	101,000	101,000	38,178	
			委託料	399,400	399,400	226,908	
			租税公課費	203,926	203,926	121,490	
			保険料				
		小 計	3,765,161	3,765,161	2,114,361		
	自主事業費						
支 出 計		3,765,161	3,765,161	2,114,361			